



暮らすにはぴったりなまち
suitable city
スイタブルシティ

“空のカーボンニュートラル” シンポジウムvol. 4

使用済み油の回収及び持続可能な航空燃料の 普及に関する取組み

2026年2月24日（火）

吹田市の概要

昭和15年(1940年)に4町村が合併し「吹田市」が誕生。

令和2年(2020年)に市制施行80周年を迎え、同年に中核市に移行した。

大阪府の北部で大阪市に隣接し、多くの鉄道駅がある交通アクセスの良さと、万博記念公園など緑豊かな環境が特徴。

SUUMO

2025年住みたい自治体ランキング関西版 第7位

東洋経済新報社

住みよさランキング2025 総合評価

第101位/783市区



1 持続可能な航空燃料(SAF)とは

SAF (Sustainable Aviation Fuel) とは

- ▶持続可能な航空燃料のことで、航空業界における脱炭素化手法の1つ。
- ▶化石燃料以外を原料とする持続可能な航空燃料
- ▶従来の航空燃料と比べてライフサイクルでCO₂排出量を大幅に削減
⇒60~80%のCO₂削減効果があるとされている。
- ▶既存のインフラ（航空機、貯蔵・給油設備など）が使用可能
- ▶中大型の航空機にはSAFが不可欠



航空脱炭素化に向けた切り札と言われている

SAFの認証

- 【安全基準】 ASTM規格（国際的な工業規格）の認証取得が必要
- 【環境基準】 CO₂削減効果はICAOの認証取得が必要

▶ 国産SAFがなかった

※2024年3月時点

2 SAFが必要とされている背景

航空分野におけるCO₂削減に関する国際目標

航空分野では、従来より温室効果ガス低減に関する国際的な合意目標がある。

- 2020年以降、国際航空からのCO₂総排出量を増加させない。
- 2024年以降、2019年のCO₂排出量の85%を上回る部分に対して、排出権を購入。
- 2030年までに国際航空におけるCO₂排出量を5%削減（2019年比）することが努力目標が設定。
- 2050年に炭素排出をネットゼロにする。



世界のSAFの需要
2050年に
4.1億kl~5.5億kl

SAFは航空セクターの脱炭素で中心的役割に＝世界各国で需要増

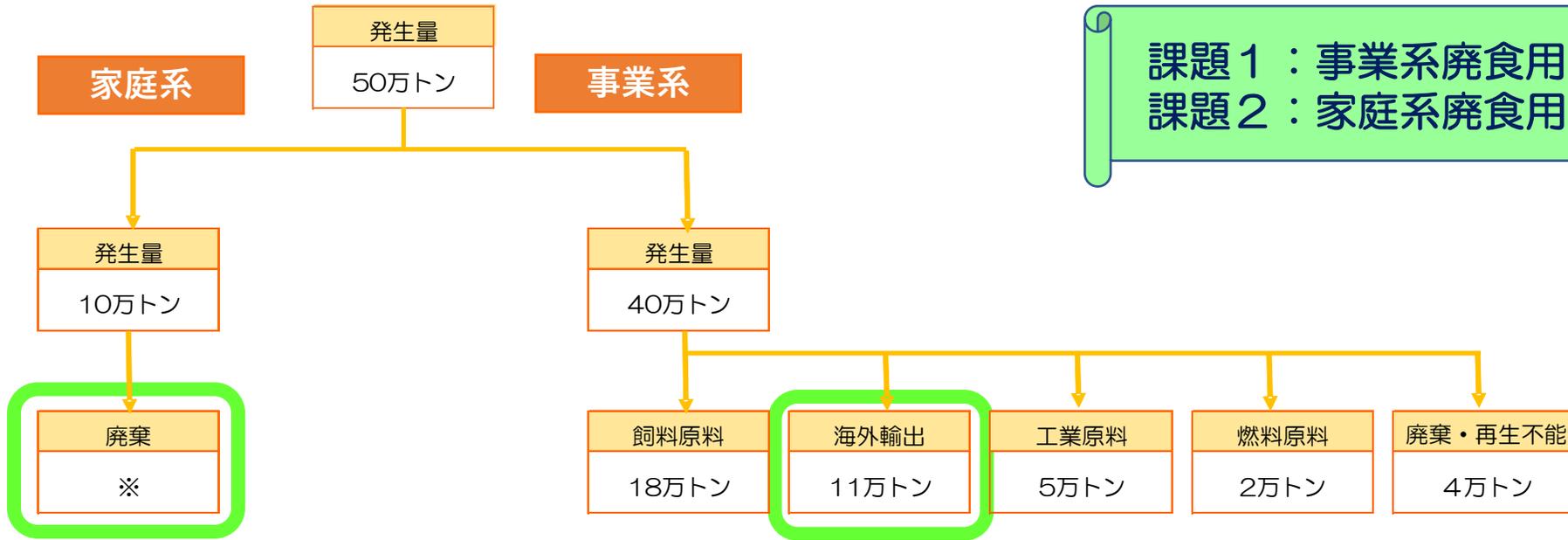
「GX実現に向けた基本方針」（経済産業省、2023年2月10日閣議決定）

ロシアによるウクライナ侵略以降、エネルギー安定供給の確保が世界的に大きな課題となる中、GX（グリーントランスフォーメーション）を通じて脱炭素、エネルギー安定供給、経済成長の3つを同時に実現するべく、GX実行会議や各省における審議会等での議論を踏まえ、昨年末に「GX実現に向けた基本方針」を取りまとめた。

【航空機産業】GX実現に向けた取組22事項の1つにSAF製造が含まれている。
→2030年時点でSAF使用量を、国内のジェット燃料使用量の10%に置き換える。

官民が連携して、SAF
の利用・供給の拡大
取組みが必要

3 日本の廃食用油の活用状況



課題1：事業系廃食用油の国内資源循環
課題2：家庭系廃食用油の資源化

※正確なデータはないが9割以上が廃棄されていると言われている。

家庭系の廃食用油の資源化が進んでいない！

SAFの供給のため、海外で製造されたものを逆輸入している！



参考：環境省「SAFの国産製造体制の強化に向けた環境省の取組状況について」

4 協定締結前までの吹田市の取組み

使用済み天ぷら油を回収しています。

廃食用油は、塗料、飼料、航空燃料等にリサイクルされます。

リサイクル方法

- 油が冷えてから、こし器で天かす等の異物を取り除いてください。
- 密封できるプラスチック容器（ペットボトルなど）にろう斗などに移してください。
- 漏れないようにフタをしっかり閉めてください。
- 最寄りの回収拠点をお持ちください。（回収拠点の開館時間にお気をつけください）

こし器、ろう斗は100均で購入可能です。

回収拠点

- ★環境政策室（市役所高層棟2階）
- ★南千里庁舎（阪急南千里南側）1階
- ★資源リサイクルセンター（くるくるプラザ）
- ★男女共同参画センター（デュオ）
- ★夢つながり未来館（ゆいぴあ）
- ★山田出張所
- ★千里丘出張所
- ★緑白台市民ホール
- ★中央図書館
- ★江坂図書館
- ★千里山・佐井寺図書館（ちさと）
- ★目黒市民体育館
- ★交流活動館
- ★下新田自治会館
- ★内本町コミュニティセンター

各施設の観覧時間を持参してください。

注意事項

- 回収する油は、家庭で使用された植物性油（菜種油、ひまわり油、オリーブ油、大豆油、へに花油、ごま油等）のみです。未使用で賞味期限が切れたものも回収できます。
- 動物性油（ラード、ヘッド、魚油等）・鉱物性油（機械油、エンジンオイル、軽油、灯油等）は回収できません。

問合せ 吹田市環境部環境政策室
TEL：06-6384-1702



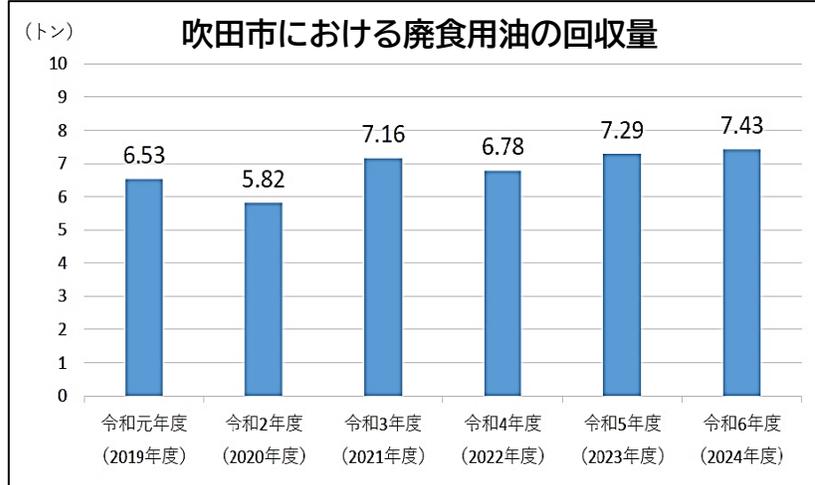
平成21年(2009年)2月から、ごみ減量施策として、家庭系廃食用油の回収を開始

- ・市内15カ所の回収拠点を設置
- ・年間約7トンの廃食用油を回収
- ・油の再生資源化業者に売却し、**塗料・飼料・粉石鹼などに再利用**

令和6年度の契約状況
2者見積合わせ
契約期間 2024/4/1~2025/3/31
単価契約 25円/kg

EXPOグリーンチャレンジに参加し、市民に廃食用油の回収を積極的に呼びかけ！

★EXPOグリーンチャレンジとは、大阪・関西万博をきっかけに企業や学校、自治体などの団体を通じて、個人の方々へ脱炭素行動を広げていく取組み



「回収協力している市民の固定化」
「回収拠点の増設」が課題！

5 国産SAF製造設備が大阪(関西)に誕生！

国内初！大阪府堺市に国産SAF製造設備が誕生

- ・大阪府堺市のコスモ石油堺製油所内に新設
- ・2024年12月に完工、2025年4月から供給開始
- ・年間2.7万kℓのSAF製造設備を設置し、安定した供給を実現
- ・新会社が設立され、国内での廃食用油の収集からSAFの製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーンを構築
- ・日本初のICA0のCORISIA認証取得を2024年11月に取得

原料となる廃食用油が
年間3万トン必要となる。

廃食用油は2024年10月から
回収開始。



**SAFFAIRE
SKY ENERGY**
サファイア・スカイ・エナジー



レボインターナショナル
廃食用油の収集、運搬



コスモ石油
用地・用役提供、運転、製品混合、
製品輸送・供給



日揮ホールディングス
事業全体統括、装置設計・建設



SAF製造設備

6 SAFの普及促進に向けた協定締結へ

官民連携で国産SAF事業推進を後押し！

大阪府内の堺市で国内初のSAF製造設備ができることをキッカケに、吹田市がSAFの供給事業に参加することで、国策である国産SAF製造を積極的に後押しする。

市が率先して取組むことで、 廃食用油のリサイクル意識の動機付けに！

個人が**直接**脱炭素に貢献できる機会を創出し、誰もが乗る可能性がある飛行機の燃料になるということで、「自分ごと」と捉えてもらい意識変革や行動変容につなげ、家庭系からの廃食用油回収を増やし、再資源化を促進する。

アップサイクルを
身近に

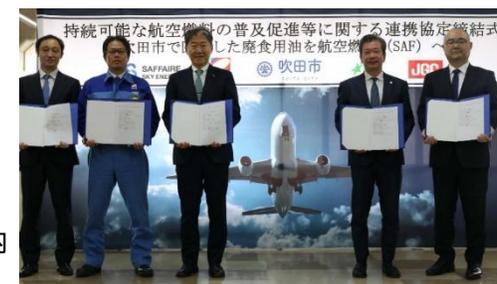
ごみ減量の推進

低炭素（脱炭素）
社会への転換

「持続可能な航空燃料の普及促進に関する連携と協力に関する協定」

令和7年（2025年）3月12日、日揮ホールディングス株式会社・コスモ石油株式会社・株式会社レボインターナショナル・合同会社SAFFAIRE SKY ENERGYと、SAFの原料となる廃食用油回収の取組を拡大することを目的とし、協定を締結した。

コスモ石油堺製油所内
での締結式の様子



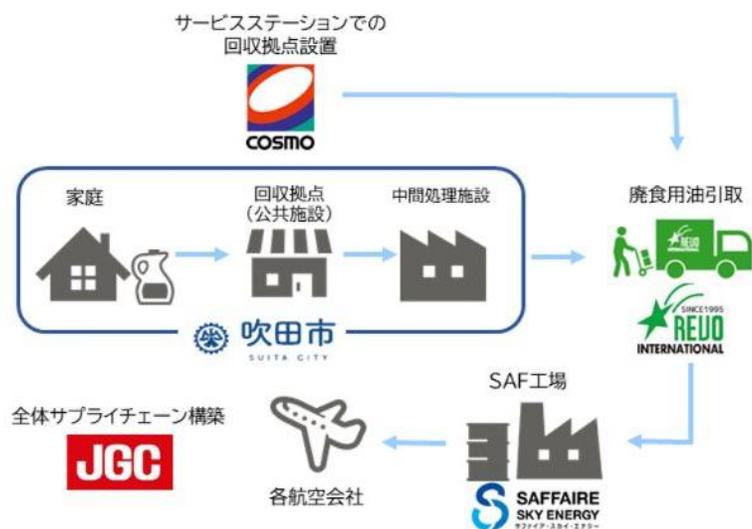
7 協定に基づく具体的な取組

吹田市の役割

- ・ 公共施設における廃食用油の回収
- ・ 回収した廃食用油の売却
⇒ 既存の拠点回収分に加え、**市立小学校及び市立保育園**で排出された廃食用油もSAFに提供
- ・ SAFの重要性を広く情報発信及び発信する機会の提供

事業者の役割

- ・ 回収した廃食用油をSAFその他バイオマス燃料の原料等に製造
- ・ SAFを製造し、資源循環の重要性を世間に発信
- ・ 廃食用油の回収拠点を提供
- ・ 廃食用油の回収及び回収キャンペーンを実施



協定締結と同時に、廃食用油を再生可能な航空燃料として活用する「Fry to Fly Project」に参加！



日揮ホールディングス㈱提供

8 回収促進の取組と今後の展望①

「SUITA Fry to Fly Project」の開始

吹田市内で「Fry（使用済み油で）to Fly（空を飛ぶ）！」を合言葉に、使用済み油の回収率を上げ、SAFの普及促進に取り組むプロジェクトを開始。

市内での取組みやプロジェクトと一緒に進めていく事業者の紹介などを通じて、資源化や脱炭素を身近に、自分ごととして捉えてもらう機会を提供する。



使用済み油の
回収拠点の拡大

賛同企業の募集と
啓発機会の拡大

- ◆ 事業者での回収BOX設置
- ◆ 市ホームページでの取組み紹介
- ◆ 啓発イベントの合同開催



現在15か所ある公共施設の回収拠点
(BOX設置)を増やすべく働きかけを強化

市内の大学との連携

多くの方が普段「油」を購入する場所で周知・啓発を図りたい…！

9 回収促進の取組と今後の展望

プレゼントキャンペーンの実施

回収協力した市民100名に抽選ですいたんグッズをプレゼントするキャンペーンを実施（6月1日～8月31日）。あわせて、回収拠点・回収ボックスに「Fry to Fly Project」のステッカーを貼付。



イベントでの啓発ブースの出店

「Fry to Fly Project」参加メンバーである「スシロー」(株) FOOD & LIFE COMPANY) と共同ですいたんフェスタ2025にブース出店。SAF製造工程が見られるVR体験などを実施。



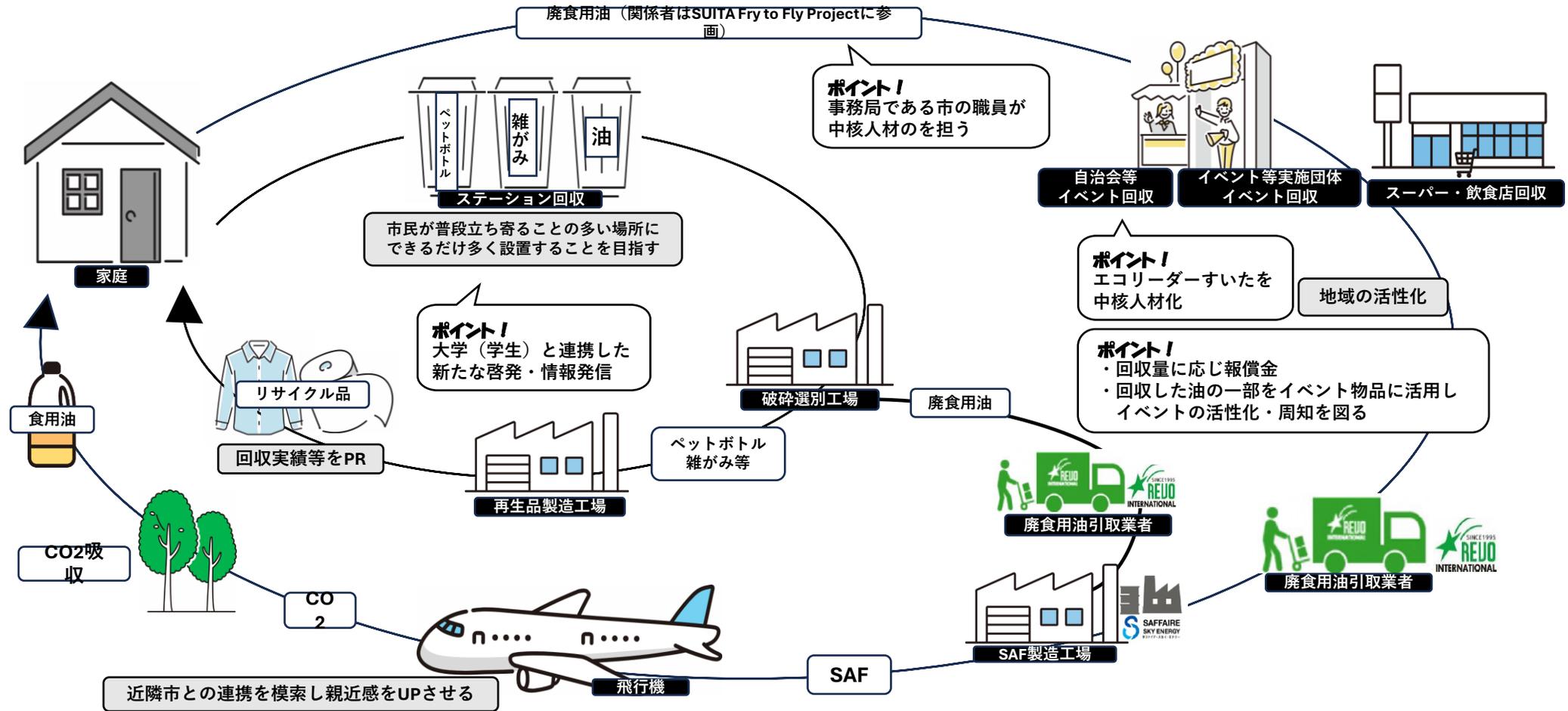
その他（今後の予定など）

- ・ SAF製造工場の市民見学ツアー実施（3月予定）
- ・ 市内スーパー等での啓発イベント実施
- ・ 市内大学・学生との連携
- ・ 近隣市町村への取組み紹介を通じた機運の醸成
- ・ さらなる回収量アップにつながるインセンティブの検討



さらなる行動変容につながる取組みを考え中です！

10 将来のビジョン(目指したい循環モデル図)



みどりと水 光と風
 楽しく共生し未来へつなげる 環境先進都市すいた

エネルギー



再生可能エネルギーの活用を中心とした低炭素社会への転換

資源循環



資源を大切に
社会システムの形成

重点戦略

はぐくむ



環境保全・創造の基盤となる
人・組織・仕組みをはぐくむ

みどり



自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成

ご清聴ありがとうございました。

生活環境



健康で快適な暮らしを支える環境の保全

都市環境



快適な都市環境の創造

そなえる



気候変動による影響にそなえる

人・組織・仕組みをはぐくむことで、効果的に本市の環境をまもり、さらに地球規模の変化にもそなえる



吹田市

SUITA CITY



吹田市HPトップページ

